

平成 27 年度 校区まちづくり懇談会 意見交換要点筆記

テーマ:まち・ひと・しごと創生について

小学校区:筑後小

開催場所:筑後小学校体育館

日 時:10月20日(火) 19:30～

参加人数:85人

【出席者】

市長、教育長、部長職

【内 容】

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 地元代表あいさつ
4. 筑後市における人口の現状と将来推計について
5. 意見交換

質問①	
男性A	<p>町の活性化について説明頂いたが、日清製粉の跡地 5,500 坪の大きい敷地がある。今回、市として大きい施設を設けるなど企業の誘致による市の発展についてお聞きする。</p> <p>筑後市で羽犬塚駅まで行く際に通る駅前通りは、市の中心にもなる。しかし、シャッターが下りている店が多くある。市の発展において、商店街の活性化をお願いしたい。ラッキーパチンコの跡地も長年空き地になっており、市の方から企業を誘致してほしい。</p>
回答①	
市長	<p>日清製粉跡地について、駅の横ということもあって、通勤にも便利なところでもあり、北側には市民の森公園もあり、住環境として良い場所になる。現在、更地になっているため、日清製粉は売却する方針である。できるだけ、住居系の用途に売り出してもらいたいが、道路の状態があまり良くない問題もある。売り出す際は、市としてインフラ整備の協力は対応できる。ただ、私有地なので市が土地を使って何かすることはできない。</p> <p>ラッキーパチンコ跡地については、商工会議所が羽犬塚駅前の開発について構想は立てている。市としてできることがあれば支援したいが、市の公の施設をつくる構想は立てていない。</p>

質問②	
男性B	<p>まち・ひと・しごとの創生ということで、良い循環を期待する。人の創生、人づくりを今のうちにやっておかないと、人によって仕事も生まれるし、町に対する愛着も持つことができる。具体的には、小さい子どもを育てる世帯や高齢者が交流する場がない。もう少し、交流できる場をつくり、盛り上げていくような人づくり、人材を育てることが大事ではないだろうか。仕事も生まれ、町の活性化につながる循環が一番である。口で言うだけではうまくいかないの、まず行動していかないといけない。地域の人づくりができるような場と人材の確保をお願いしたい。</p>
回答②	
総務部長	<p>世代交流についてだが、各コミュニティで高齢者地域活動支援補助事業として、高齢者だけの交流会ではなく、全体に占める65歳以上と65歳未満の方の割合を決めて、世代交流事業を実施した場合は、1コミュニティあたりで最高10万円、年に2回補助することを新たに始めている。</p> <p>おひさまハウスでの子育て支援事業として、高齢者の方と乳幼児、母親の多世代交流事業を実施している。茶もみの体験で、子どもは知らない高齢者と仲良くなって、本当の孫のように可愛がっている姿がみられる。多世代交流をもっと広げていきたいと考えている。</p>
質問③	
男性C	<p>地域のお年寄りから若い世代の交流を行うために、昨年バスハイクを計画し行った。ただ、筑後校区には世代の違う交流ができる場がない。地方創生という枠の中で、多世代が交流できる場所づくりをお願いしたい。</p>
回答③	
市長	<p>今年の8月にコミュニティ協議会から、地方創生の枠の中で、世代交流ができる場の確保について要望を受けた。市の総合戦略の中に、どのようにして取り入れられるか検討していく。ただ、大きなお金が必要になるので、市の単独の施策では始められない。国の支援策をうまく活用して、積極的に進めさせていただきたい。地域のコミュニティを中心に、子どもからお年寄りまで一緒になって、地域で頑張っていく方向で検討させてもらう。</p>
質問④	
男性D	<p>多世代交流という話が出たが、交流できる場がない、施設がないからできないと、待っていても間に合わない。できることからやってみる、足元を良く見てやっていくことが大事ではないだろうか。多世代交流できる場にしたいということで、ふれあい農園をつくった。小学生からその保護者、高齢者まで一緒に収穫したり、収穫祭を行ったり、収穫したものを加工したりして進めている。まず、できることからやってみるのが大事ではないだろうか。今後も実行していきたいと考えている。</p>

回答④	
市長	<p>私もふれあい農園を見させていただいた。立派に管理されており、子どもたちも収穫したりして喜んでた。ハード面については時間がかかるが、足元でやれることは、皆さんの知恵や力を使ってやって頂きたい。市の方でできるソフト面の支援について、相談してもらいたい。大きな施設がないから何もできないとなると、完成するまでできないとなるので、現在の行政区やコミュニティ協議会でできることを積極的に取り組んで頂きたい。</p>

質問⑤	
女性A	<p>地域性もあるが昔は3世代同居の家族がたくさんあった。近所のおじちゃん、おばちゃん知恵を借りながら、我々も成長し、子どもたちも優しい子どもが育った。今は、核家族世帯が増え、近所で話す機会が減った。さびしい地域性になったと感じる。若い人やこの懇談会に参加していない方々に意識して頂きたい。</p> <p>また、空き家が多くなり、山の井の四つ角に老朽化した空き家や、瓦が落ちそうな空き家がある。危険性もあり、空き家について早い対応をして頂きたい。</p>

回答⑤	
総務部長	<p>市の方としても、空き家対策ということで対応している。空き家の調査、危険家屋の調査などを行っている。実際に現場に行き、危険度が高いものについては、所有者の方に電話連絡して、管理についてのアプローチを行っている。先ほど言われた家屋についても、できる限り、所有者の方に管理をお願いする。</p>
市長	<p>このような場に来て頂けない人に、私どもの気持ちが通じない。そのような方を引っ張り出す方法を考えていかなければならない。健康づくりの問題や隣組の問題にしても、話はしたいけれど、出てきてくれない人に伝えることは、非常に難しい。根気強くその方々に語りかけて、理解してもらえない。行政が全部やることは難しいので、まずは地域の中でやって頂きたい。</p>

質問⑥	
女性B	<p>健康づくりに盛んに取り組んでおり、ラジオ体操やウォーキングをしている。けやき通りを歩く時に、何か所かベンチがあると良いと思う。高齢な方々も歩いており、休憩できる場やベンチがあると、そこに人が集まり話もできる。無理してでも、休憩できる場所があることで頑張れる。検討をお願いしたい。</p> <p>筑後小学校の桜の木があり、老朽化してきて、このままにしておくとダメになるのではないかと。若い木を植えて頂けると、きれいな景観が保てるのではないかと。検討をお願いしたい。</p>

回答⑥	
建設経済部長	<p>けやき通りについて、昼夜問わず利用してもらっている。都市計画として整備をしているが、家の出入りとか店舗の前に設置はできない。この件は検討させていただく。地域の方やウォーキングをされている方等にも意見を伺いたい。</p>
教育委員会次長	<p>桜の木については、この前の台風で、ある小学校の樹齢何百年もの木が半分倒れて、再生できないか試みたが、下の方が腐っており、危険であるということで残念ながら伐採をした。学校の中の木は、年数も経っているが、すぐに伐採の対象となるわけではないので、学校や地域にもご意見を頂きながら、どうしていくか考えなければならない</p>
市長	<p>ラジオ体操やウォーキングなど、健康づくりが一番の取組だと思っている。ウォーキングをしながら、疲れて休みたい気持ちにもなる。ただ、歩道にベンチを置くとなると、自転車を通る人もいるので、他の人の邪魔になることも考えないといけない。店舗の前に置かせてもらえないか、相談していきたい。</p> <p>桜の木も、頑張っても 50～60 年で寿命を迎える。次の世代につなぐために、寿命の長い品種の選択などを視野に入れていきたい。</p>

質問⑦	
男性E	<p>農業は筑後市にとって重要な産業であると思う。食べることというのは、地方創生の観点や次世代に伝えたい文化としても重要である。よらん野などの直売所もあり、有効なアイテムである。農業の振興も含めてお願いしたい。</p> <p>また、人口の問題について、女性がキーポイントになる。芸文館で女性農業者の大活躍大会があり、企業の偉い人は男性ばかりという話があがった。人口問題にとって、女性の考え方が一番大事じゃないかと思う。女子の意見を取り入れた戦略を立ててもらいたい。</p>

回答⑦	
市長	<p>食や農業は大事な点であり、県内の 60 市町の中でも、これだけ水田地帯が整備されていて、素晴らしい果樹園や茶園もあるのは筑後市の強みである。作ることにについては、筑後市は非常に優れている。それを如何にして消費する側、食べる側に選んで頂くかということ。よらん野に関しては、直売所として品数も豊富で新鮮で、人が集まっている。もっと、市民の方に新鮮なものを食べられるということを知ってもらいたい。私も畑を耕し、色んな野菜を育てている。田舎暮らしに憧れていて、自分の作ったキュウリやトマトを朝摘んで、生きている野菜をそのまま食べている。田舎暮らしの良さ、贅沢を自己満足している。このような良さを広めることが大事である。</p> <p>人口問題と女性の問題について、筑後市役所の女性の役職への登用率は県内市町村の中でも高い方にある。市役所以外でも女性は頑張っている。本市の合計特殊出生率は 1.68 ということで、国の値を上回っているが、若い女性の減少による子どもの減少が問題である。早く結婚して、早く子どもをつくって頂きた</p>

	い希望はある。
総務 部長	<p>本市の役職について調べたところ、女性の部長職は今のところいない。女性の管理職は25%、課長職だけだと3割を超える。新規採用職員の状況も男女ほぼ同数であり、今年は特に女性の方が多かった。私が入った頃は、男性が9人で女性が1人という時代もあった。現在、職員の男女比の割合は6:4であるが、今後は5:5になると考えられる。また、今年8月に女性活躍推進法が施行されたので、来年度から300人以上の企業については特定事業主計画を立てなければならない。女性の活躍については、考えていかなければならない。</p>

6. 閉会